

代表質問

問 波賀町学校給食センター
廃止は撤回を

答 合意形成の
できた時点で行う



日本共産党議員団代表
岡前 治生

問 今回、逮捕された北川容疑者は、警察で否認しているとのことである。逮捕に至るまでにはそれなりの証拠が必要だと思うが、それは具体的に何であったのか。

市長 警察からの情報がない。

問 12月10日には、期末勤労手当が支払われるが、同容疑者にも支払われるのか。

市長 支払われる。

問 事件発覚からこれだけ月日を要したことに、市民より怒りの声があがっている。前回の処分だけで、今回の逮捕を受けて、関係者の責任は問わな

いのか。

市長 今後考える。

問 事件説明ができない場合、不明な公金1600万円はだれの責任において弁済するのか。

市長 特命チームで検討する。

問 平成15年から19年の生し尿収集量の資料によると、平均すると直営が1件あたり340ℓに対し、A社は539ℓ、B社は660ℓである。便槽に地域によって、そんなに偏りはないと思うが、いわゆる「水増し請求」が直営以外常態化していたのではないか。調査結果はどうか。

市長 重く受け止め、法律の専門家と協議する。

問 西播管内の自治体でルール以外の一般会計からの繰入をしていないのは宍粟市だけである。市長は前回「国保加入者の年齢構成なり所得、そういったことも踏まえながら検討することも必要」との答弁をされている。検討された結果はどうなったか。

市長 新年度は大幅な歳入不足が見込まれる。

問 前回質問していた、資産割を課さない場合の国保税の試算結果はどうなったか。

市長 資産のない人は増額になる。

問 波賀学校給食センターの廃止の説明が行われ、そこでは反対意見がかなり出されたと聞く。学校給食は教育の一環であり、食育が大切だと言われ



波賀学校給食センター

ている中で、地産地消は大切なことである。子供たちにとって、地元はやはり旧町単位であり、そこでおじいちゃんやおばあちゃんの丹精込めてつくってもらった野菜を食することが何よりの食育だと思う。波賀学校給食センターの廃止方針は撤回すべきであると思うがどうか。

市長 合意形成がとれた時点で行う。